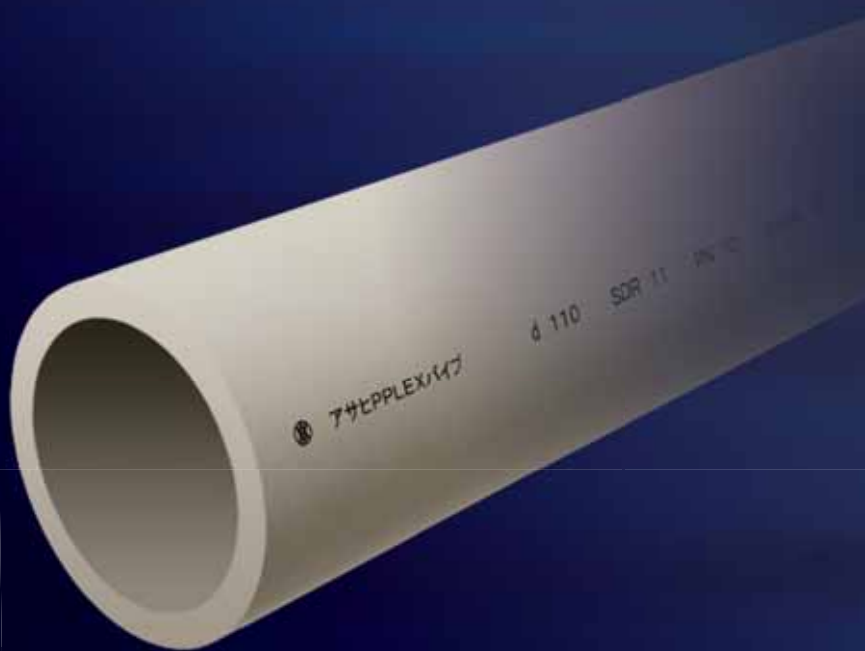


旭有機材

ASAHI 

アサヒPPLEX™パイプ®



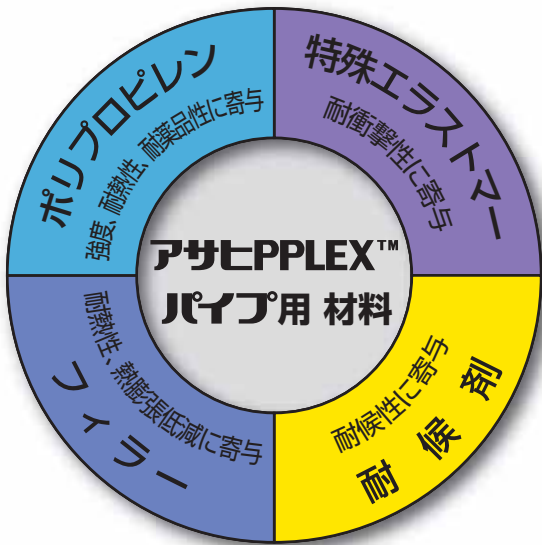
ASAHI ORGANIC CHEMICALS INDUSTRY CO., LTD.

アサヒPPLEX™パイプ

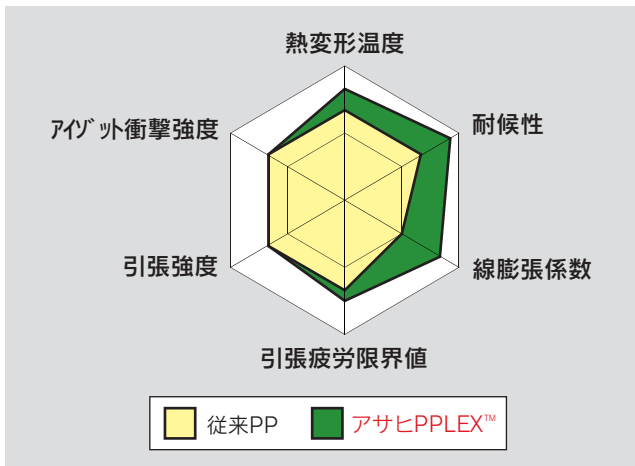
ポリプロピレン (PP) パイプは耐熱性、耐薬品性、強度のバランスに優れることから、化学工場、研究施設、温泉施設などに適した配管部材として信頼を得ています。

一方でポリプロピレン(PP)パイプは「他の樹脂配管材料に比べ熱膨張が大きい為、多くの伸縮対策を設けなければならず、施工コストのUPに繋がるのでは?」「PPは耐候性が悪いから、屋外では使用できないのでは?」など、お客様からの指摘事項（懸念）が存在するのも事実です。

アサヒPPLEX™パイプ は材料配合面からの改良を実施し、ポリプロピレン(PP)の長所を活かしつつ、「**熱膨張**」「**耐候性**」に関し、改善を図っています。



左図のようにさまざまな添加剤を配合していますが、流体に溶出することはほとんどなく、食品衛生法の規格基準に適合しております。



No. T60001303J001		証明書	発行日: 平成18年5月21日
旭有機材工業 株式会社 殿		<small>厚生労働省・食品衛生法に基づく各種検査機関 経済産業省・工業標準化法に基づく化学検査機関 財団法人 化学技術開発推進機構 高分子試験・評価センター TEL 03-2602-4841 FAX 03-2602-5339</small>	
貴社持参の試料についての試験結果は下記のとおりであることを証明します。			
記			
申請日	平成18年5月15日	受付番号	011205
試験年月日	平成18年5月25日		
試料	ポリプロピレン樹脂 (アサヒPPLEXパイプ)		
試験方法	食品衛生法・食品、添加物等の規格基準 (昭和34年厚生省告示第370号) 及び ポリエチレン及びポリプロピレンを主成分とする合成樹脂製の器具又は容器包装 (昭和57年厚生省告示第20号)		
試験項目	試験結果		
材質試験			
鉛	適合する		
カドミウム	適合する		
抽出試験			
重金属 (鉛として)	適合する		
過マンガン酸カリウム消費量	適合する		
臭気成分 (臭)	適合する		
挥发物 (4%動態)	適合する		
挥发物 (2.0%アルコール)	適合する		
挥发物 (n-ヘプタン)	適合する		
上記結果は食品衛生法・食品、添加物等の規格基準 (昭和34年厚生省告示第370号) に適合する。			

特長その① 小さい熱膨張

Low Thermal expansion

60℃	従来PP	
	アサヒ PPLEX™	
95℃	従来PP	
	アサヒ PPLEX™	

※) 50mm (d63) × 4mの管端を完全に固定し、温水を通水
熱膨張係数がPVC並み(7×10^{-5})のため配管の蛇行現象が抑制されます。

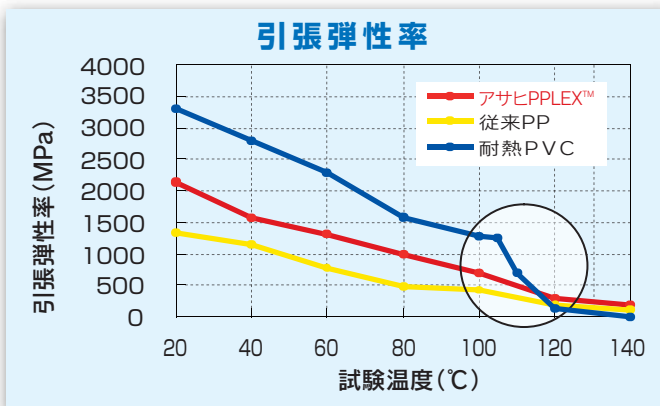
配管イメージ



伸びが抑えられることにより伸縮処理も軽減され、施工費用の低減に効果を発揮します。

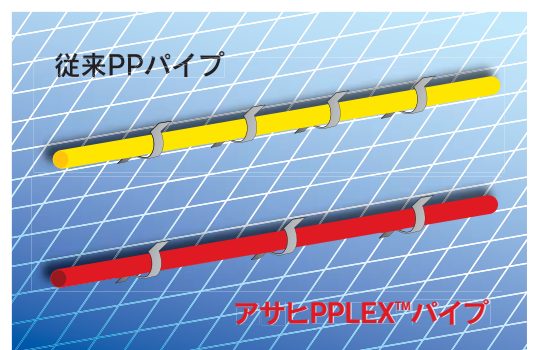
特長その② 耐熱性アップ

Heat resistance



従来のPP材料に比べ耐熱性がアップしました。
また、高温域でも急激な物性低下が見られませんので、安全性に優れた材料です。

配管イメージ



また、配管たわみも抑えられ、それによりサポート間隔もひろがりますので、サポート金具設置の軽減に効果を発揮します。

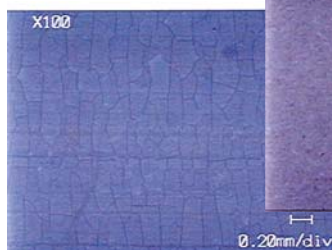
特長その③ 耐候性アップ

Weather resistance

■ 耐候性試験：屋外暴露2年相当のUV照射

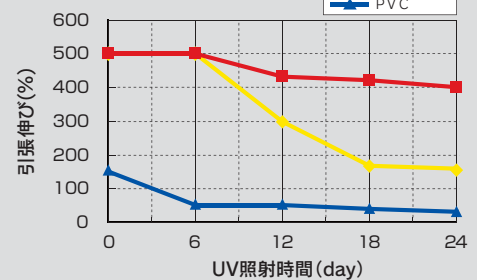
耐候性試験後の成形品の拡大表面

従来PPパイプ



耐候性を付与
(ひび割れなし!)

アサヒPPLEX™パイプ



当社独自の配合により耐候性は大幅に改善され、PVC以上の屋外暴露の耐用年数を有します。

アサヒPPLEX™パイプ

アサヒPPLEX™パイプは、アルカリや有機溶剤に対して優れた耐久性を示します。加えて、高温域においても、良好な耐薬品性を発揮します。

しかし、一部の酸（特に低分子量の揮発性酸）については、高温域で浸透による膨潤現象が起こることが確認されておりますので、ご使用を検討される際には、弊社へお問い合わせください。

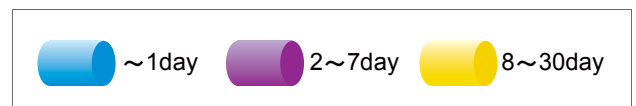
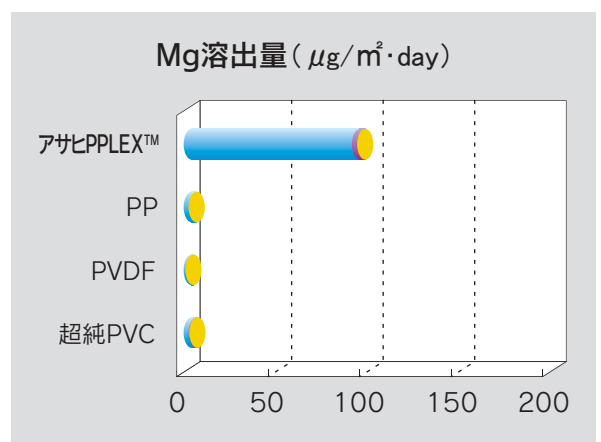
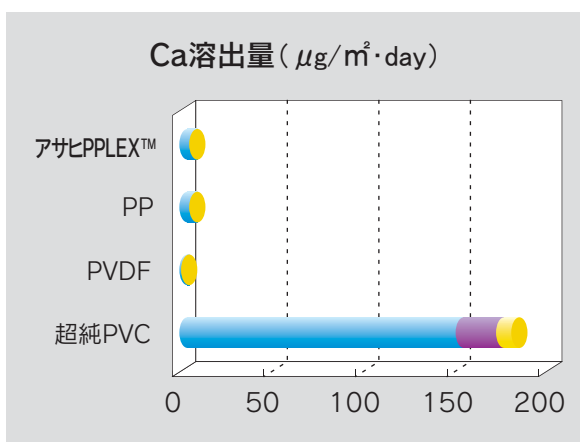
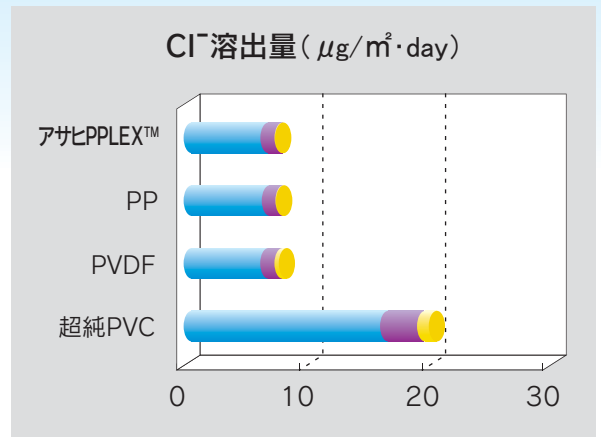
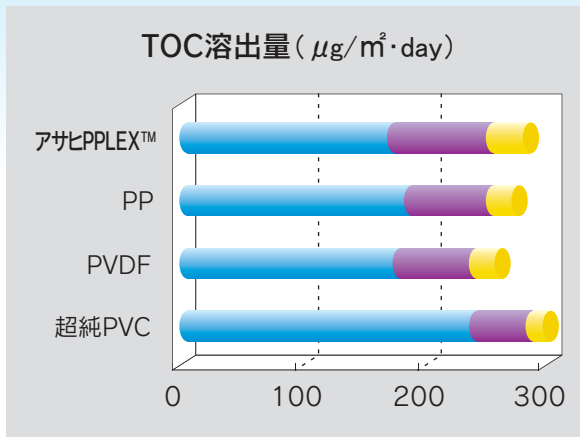
■アサヒPPLEX™パイプの代表的な耐薬品性

薬品名	分子式	濃度 (%)	温度 (°C)			
			20	40	60	95
水	H ₂ O	pure	■	■	■	■
水酸化ナトリウム	NaOH	50	■	■	■	■
		15	■	■	■	■
		5	■	■	■	■
水酸化カリウム	KOH	25	■	■	■	■
水酸化アンモニウム	NH ₄ OH	40	■	■	■	■
		10	■	■	■	■
エタノール	CH ₃ CH ₂ OH	96	■	■	■	■
メタノール	CH ₃ OH	pure	■	■	■	■
酢酸	CH ₃ COOH	50	■	■	■	■
		10	■	■	■	■
硫酸	H ₂ SO ₄	60	■	■	■	■
		50	■	■	■	■
		30	■	■	■	■
		10	■	■	■	■
リン酸	H ₃ PO ₄	85	■	■	■	■
		50	■	■	■	■
		10	■	■	■	■
塩酸	HCl	20	■	■	■	■
		5	■	■	■	■
フッ酸	HF	30	■	■	■	■
		10	■	■	■	■
硝酸	HNO ₃	10	■	■	■	■
過酸化水素水	H ₂ O ₂	10	■	■	■	■
塩化第二鉄	FeCl ₂	希釈	■	■	■	■
食塩 (塩化ナトリウム)	NaCl	希釈	■	■	■	■
		飽和	■	■	■	■

■ 全く或いはほとんど影響されない。

アサヒPPLEX™パイプは、流体への溶出が少ない衛生的な原料を使用しておりますが、Mgが他のパイプと比較して多く溶出します。

しかしその他は各種純水向けの配管と同様のレベルの溶出量に抑えられています。



■試験温度：23℃

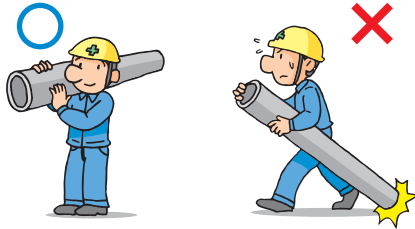
■「超純水封止法」(半導体基盤技術研究会)による

■上記データは、実験値であり保証するものではありません。

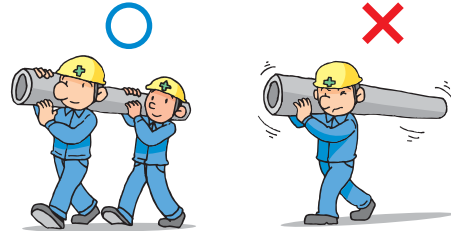
使用上の注意

1. 運搬

①パイプに傷が付くので引きずったりしないでください。又、パイプの両端は欠けやすいため引きずったりしないでください。



②呼び径 d180 (150mm) 以上のパイプの取り扱いには 2人でおこなってください。



③トラックの荷台からパイプを放り投げないでください。

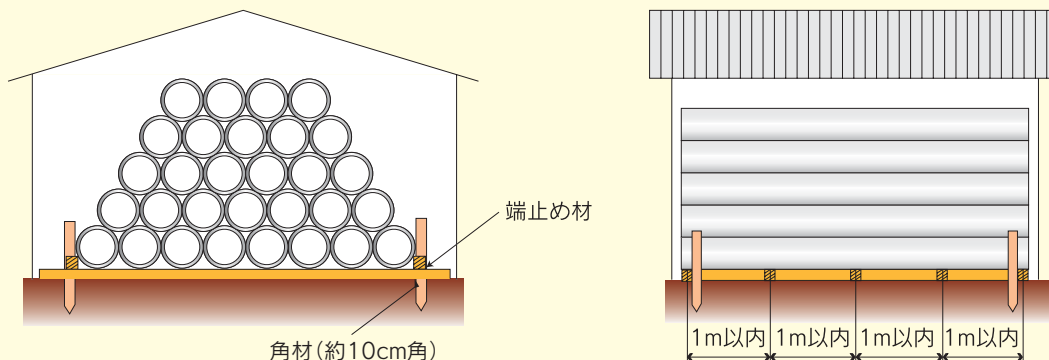


2. 保管

パイプ、継手の保管では、製品の変形変色及び劣化を防止するため、次の事項に注意してください。

- (1) 管の保護は屋内保管を原則とし、メーカー出荷時の荷姿のままとしてください。現場で屋外保管をする場合はシートなどで直接日光を避けるとともに、熱気がこもらないように風通しに配慮してください。
- (2) 管の保管は平坦な場所を選んで、まくら木を約1m間隔で置き、不陸が生じないようにして横積みにしてください。また、上げる時は、管を積み変形をさけるため、1.5m以下の高さにしてください。なお、井げた積みは避けてください。
- (3) 継手の保管は屋内保管を原則とし、現場で屋外保管をする場合はメーカー出荷時のダンボール梱包状態のままシート等で覆ってください。

管、継手とも、土砂、洗剤、溶剤、油が付着する恐れがある場所及び火気の側には置かないでください。



3. 施工

- ① 屋外などの露出配管は、太陽光線の影響や凍結による破損の点から、適当な被覆工や保温工を行ってください。
- ② 不等沈下や温度変化などによる伸縮に対応する為、適当な場所に、可とう性のある継手を設置してください。

4. 完成検査

- ① 完成検査は必ず水圧によるテストにて行ってください。
- ② エアによる気密試験は大変危険ですので行わないでください。

5. その他

- ① 管、継手には、直接ねじを切らないでください。
- ② 最高許容圧力とは、水撃圧を含んだ圧力です。最高許容圧力を超えて使用しないでください。



弊社製品の保証内容について必ずお読みください。

- 弊社製品のご使用に際しては、製品仕様や注意事項等の遵守をお願い致します。
- 弊社は製品の品質・信頼性の向上に努めておりますが、その完全性を保証するものではありません。特に人の生命、身体または財産を侵害する恐れのある設備等へご使用される場合には、通常発生し得る不具合を十分に考慮した適切な安全設計等の対策を施してください。このようなご使用については、事前に仕様書等の書面による弊社の同意を得ていない場合は、弊社はその責を負いかねますのでご了承願います。
- 弊社製品の選定、施工・据付、操作、メンテナンス等の注意事項は技術資料、取扱説明書等に記載してありますので、最寄りの販売店・弊社営業所へお問い合わせください。
- 弊社製品の保証期間は納入後1年間とし、保証期間中に不具合が生じ、弊社に通知された場合は直ちに原因究明を行い、弊社製品に欠陥が発見された場合には弊社の責任でその製品を修理・交換致します。
- 保証期間経過後の修理・交換は有償となります。
- ただし、次に該当する場合は保証の対象外と致します。
 - (1) ご使用条件が弊社の定義する保証範囲を超えている場合。
 - (2) 施工・据付、取扱い、メンテナンス等において、弊社の定義する**注意事項等**^{*}が守られていない場合。
 - (3) 不具合の原因が弊社製品以外の場合。
 - (4) 弊社以外による製品の改造・二次加工による場合。
 - (5) 部品をその製品の本来の使い方以外にご使用された場合。
 - (6) 天災・災害等の弊社製品以外の原因による場合。

※ 尚、弊社製品の不具合により誘発される損害については、保証の対象外と致します。
- この保証は弊社製品を日本国内で使用される場合に限り適用されます。海外でご使用される場合には、別途、弊社にお問い合わせください。

【注意事項】

※当社樹脂製配管材料に陽圧の気体をご使用される場合は、水圧と同値であっても**圧縮性流体特有の反発力により危険な状態が想定されますので、管を保護資材で被覆する等周辺への安全対策を必ず施してご使用願います。尚、ご不明な点はお手数ですが弊社窓口へお問い合わせください。**

配管施工完了後、管路の漏れ試験を行う場合、水圧にて確認してください。
止むを得ず気体にて試験を行う場合、最寄りの営業所へ事前にご相談ください。

※当社樹脂製配管材料のねじ接合部には、**シールテープをご使用ください。**

液状シール剤及び液状ガスケットを使用した場合、ストレスクラック（環境応力割れ）を起こす可能性があります。止むを得ず使用される場合は、保証の限りではありません。

<弊社製品を輸出される場合のお願い>

【輸出法令と輸出管理について】

日本の安全保障と世界各地における紛争防止を目的として、国際的な合意の下に輸出品が武器・通常兵器及び核兵器・生物兵器・化学兵器・ミサイル等の大量破壊兵器の開発・製造等に利用されない為の輸出規制が実施されています。

我国では「外国為替及び外国貿易法」に基く政省令等が定める輸出規制において、「リスト規制」「キャッチオール規制」の対象となる貨物（製品）・役務（技術）については輸出する際に経済産業大臣の許可が必要となる場合があります。

弊社にはリスト規制の対象となるフッ素樹脂関連製品・部品があり、キャッチオール規制には全製品が対象となりますので必ず確認をお願い致します。

規制対象となる弊社製品及び部品を輸出する場合、経済産業省へ許可申請する際に必要となる該非判定書（パラメータシート）はお客様からの依頼により発行いたします。

【該非判定書（パラメータシート）の発行について】

お客様から輸出を目的とした製品について弊社に発行を依頼される該非判定書（パラメータシート）につきましてはメーカー責任上、その製品の最終仕向地・最終ユーザー・使用目的等の内容確認をさせていただきます。

ご依頼の際には弊社仕様の「輸出内容確認書」の提出をお願い致します。

提出していただいた内容を確認の上発行致します。（お申し込みから1週間程度頂戴致します。）尚、輸出先・使用目的の内容等によってはお断りする場合がございます。

詳細につきましては担当営業所までお問い合わせ下さい。

ご協力の程よろしくお願い致します。

弊社は弊社製品・技術等の輸出版売及び輸出向けと認識した国内販売につきましては、日本国の法令・政省令の遵守を基本方針とし、社会的責任を果たすべく社内の輸出管理を適切に実施いたします。

製品規格一覧

呼び径 (mm)	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200
製品表示	d20	d25	d32	d40	d50	d63	d75	d90	d110	d140	d180	d225
パイプ (PN10)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※継手は AV-PP 継手 (ソケットタイプ) をご使用ください。

追加ラインナップ予定



PPC ジョイント

融着不要のアサヒPPLEX™パイプ用
メカニカル継手

■d20 ~ d63 の各種継手類を品揃え予定



旭有機材工業株式会社

ASAHI ORGANIC CHEMICALS INDUSTRY CO., LTD.

<http://www.asahi-yukizai.co.jp/>

管材システム事業部

東京都千代田区内神田2-15-9 古河千代田ビル 〒101-0047
TEL 03-3254-7221 FAX 03-3254-3473

東日本営業部

札幌営業所 北海道札幌市北区北40条西4丁目 N40ビル4F 〒001-0040
TEL 011-746-7710 FAX 011-746-7714

盛岡営業所 岩手県盛岡市高松2-6-39 繼慶レジデンス 〒020-0114
TEL 019-663-0820 FAX 019-663-0388

仙台営業所 宮城県仙台市青葉区国分町2-14-18 定禅寺パークビル3F 〒980-0803
TEL 022-213-3911 FAX 022-213-3912

東京営業所 東京都千代田区内神田2-15-9 古河千代田ビル 〒101-0047
TEL 03-3254-7221 FAX 03-3254-3473

北関東営業所 埼玉県さいたま市北区日進町1-456-1 〒331-0823
TEL 048-662-1241 FAX 048-662-3961

新潟営業所 新潟県新潟市天神1-17-1 けやきビル802号 〒950-0917
TEL 025-244-1621 FAX 025-243-3428

名古屋営業所 愛知県海部郡大治町大字三本木字村部160 〒490-1142
TEL 052-446-2421 FAX 052-446-2434

静岡営業所 静岡県静岡市駿河区稲川3-1-21 杉田ビル2F 〒422-8062
TEL 054-288-2665 FAX 054-288-2670

長野営業所 長野県塩尻市広丘野村字角前1881 〒399-0702
TEL 0263-54-7211 FAX 0263-54-7230

北陸営業所 富山県富山市黒瀬北町2-13-1 イムズビル3F 〒939-8216
TEL 076-425-2531 FAX 076-422-3465

西日本営業部

大阪営業所 大阪府大阪市淀川区西宮原1-5-10 ミタビル5F 〒532-0004
TEL 06-6399-2240 FAX 06-6399-2230

岡山営業所 岡山県岡山市幸町8-29 三井生命岡山ビル7F 〒700-0903
TEL 086-222-1525 FAX 086-222-1481

広島営業所 広島県広島市中区光南3-9-16 〒730-0825
TEL 082-544-0933 FAX 082-544-0938

高松営業所 香川県高松市寿町1-1-12 パシフィックシティ4F 〒760-0023
TEL 087-822-4731 FAX 087-822-4854

福岡営業所 福岡県福岡市博多区豊2-3-35 〒812-0042
TEL 092-413-8700 FAX 092-413-8722

長崎営業所 長崎県諫早市上町4-3 池田第二ビル302号 〒854-0024
TEL 0957-21-3722 FAX 0957-21-3738

熊本営業所 熊本県熊本市長嶺東8-2-63 〒861-8038
TEL 096-389-1610 FAX 096-389-1601

南九州営業所 宮崎県宮崎市村角町中尊1885 〒880-0837
TEL 0985-22-3171 FAX 0985-22-3179



管材システム事業部はISO9001:2000の
品質マネジメントシステムの認証を取得しています。

ISO9001



延岡本社・延岡工場・天下テクノセンター・北方工場エンジニアリング部・大武倉庫 (物流管理課は
ISO14001:1996の環境マネジメントシステムの認証を取得しています。)

ISO14001

販売代理店